

# ものづくりの地産地消

**ものづくり地産地消センター**  
「ものづくりの地産地消」を進めるための総合相談窓口

平成23年  
6月開設

「足りない」「わからない」の  
ピースを私たちが  
マッチングします!!

「ものづくり」でお悩みの方は、  
お気軽にご相談ください!

☎ 088-845-7110 なんでも110番

産業振興推進部 計画推進課

# ◆「ものづくりの地産地消」の抜本強化◆

## ●高知県産業振興計画の基本的な方向性

～ 改革の3つの基本方向～

3つの課題	基本方向	目指す方向
I 人口の減少により縮小を続ける県内市場頼り	1. 足下を固め、活力ある県外市場に打って出る	① 「地産地消」の徹底 ② 「地産外商」の推進 ③ 海外への「地産外商」に挑戦
II 産業間の連携が弱い	2. 産業間連携の強化	① 産業間の連携による高付加価値化の推進 ② 特に産業間連携を進める2つの柱 ア 第一次産業の強みを生かした食品加工の推進 イ すそ野の広い観光産業の戦略的展開
III 第一次産業の強みが強みでなくなりつつある	3. 足腰を強め、新分野へ挑戦	① 生産地の足腰の強化と担い手の育成 ② 中山間地域の産業づくり ③ 新産業の創出

平成21年度  
産業振興計画

平成22年度  
産業振興計画 Ver.2

平成23年度  
産業振興計画 Ver.3

正念場！

本気で実行！

果敢に挑戦！

Ver.2改定の5本柱

- ① 地産外商戦略の加速化
- ② 「ものづくりの地産地消」の促進
- ③ ポスト「龍馬博」の推進
- ④ 地域の取り組みのステップアップ推進
- ⑤ 地域産業を創造・リードする人材の育成・確保

Ver.3改定の5本柱

- ① 外商活動のさらなる展開を図るとともに、「ものづくりの地産地消」を抜本強化
- ② 「龍馬ふるさと博」を核としたポスト龍馬博の展開
- ③ 新エネルギーを産業振興に生かす
- ④ 産学官連携の強化
- ⑤ 地域産業の育成と事業化支援の強化

Ver.3  
改定の柱  
1

外商活動のさらなる展開を図るとともに、  
「ものづくりの地産地消」を抜本強化  
～メイドイン高知を全国へ！ 取り組みのさらなる強化～

\* 「ものづくりの地産地消」

県内で必要とするものづくり（加工や機械設備の製造等）をできるだけ県内事業者どうして行うこと

計画改定の  
背景

- 人口の減少と高齢化によって県内購買力が減少しているため、「地産地消」の取り組みに加えて、活力のある県外・海外にモノを売って県内所得の向上を図る「地産外商」を強力に推進してきた。
- 「地産外商」は、外商機会の飛躍的な拡大や「まるごと高知」での外商活動の本格化などにより、成約件数が大幅に増加するなど、一定の成果が出てきた。
- こうした「外商」のもととなる「地産」を進める取り組みとして、ものづくりをできるだけ県内事業者どうして行う「ものづくりの地産地消」を進めてきた。一部で成果の兆しは見えるが、まだまだ動きが弱いため、抜本的な強化が必要。

ねらい

- 「まるごと高知」を拠点とする首都圏に加え、関西・中部地区などでの外商活動を活発化する。
- 「外商」のもととなる「地産」を支える県内産業の力を強め、加工の工程や機械設備の製造を県内の事業者どうして行う仕組みづくりを強化する。
- これらにより「外商」、その県内への経済波及効果の拡大を目指す。

## ～重点的な取り組み～

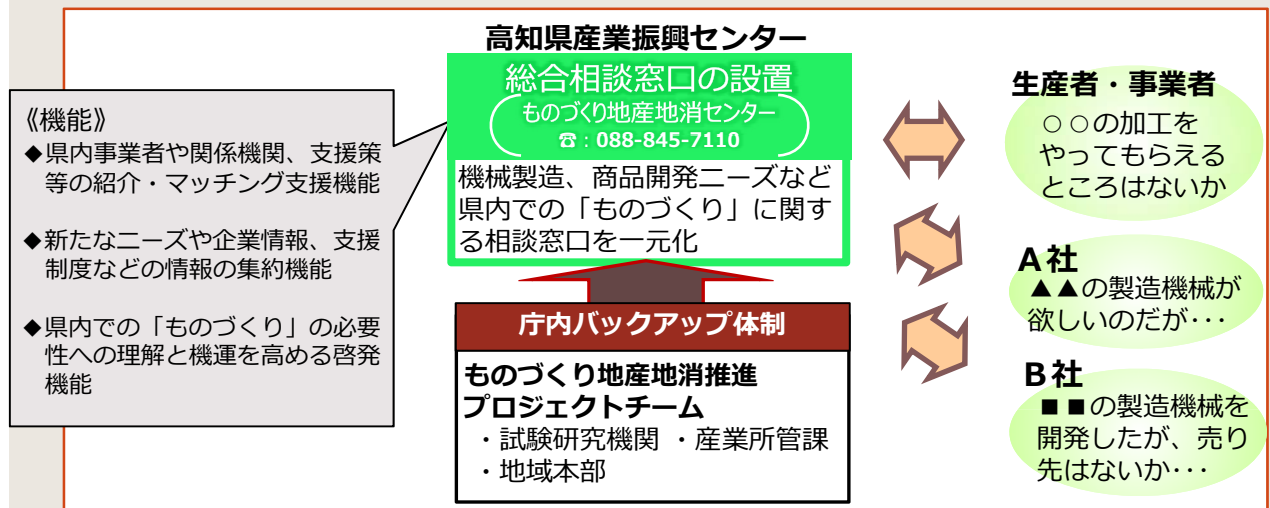
付加価値を高める工程が県外に流出している。例えば・・・

Case 1 :  
設備がなく（投資に見合う仕事がない）、加工工程が県外へ  
⇒対応策①、②

Case 2 :  
技術が十分でないため、技術力のある県外へ  
⇒対応策②

Case 3 :  
対応できる事業者がないため、コストは高くつくが県外へ  
⇒対応策③

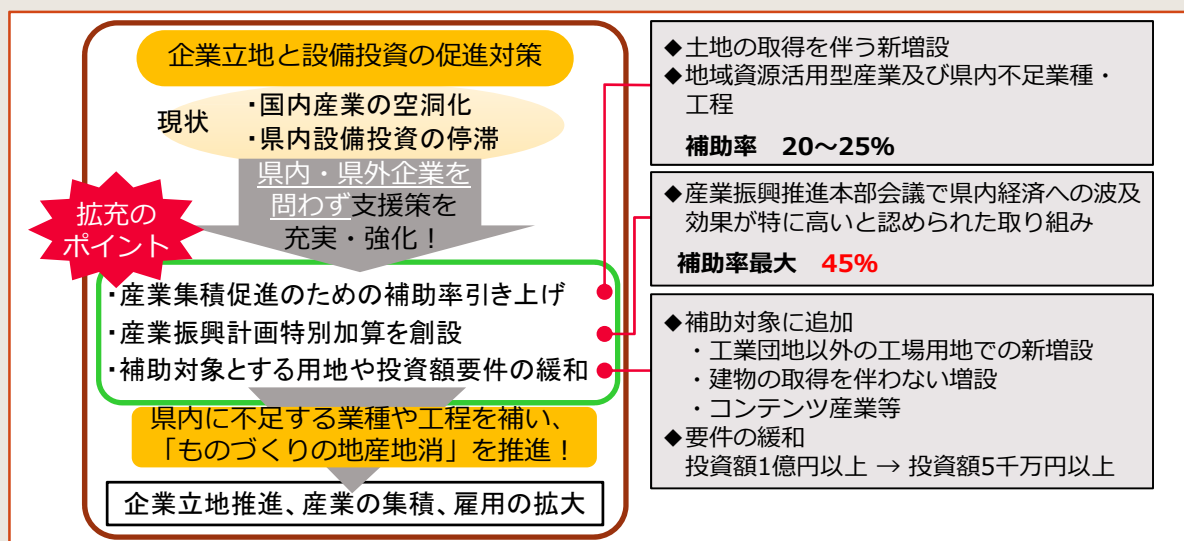
### 対応策① 「ものづくりの地産地消」に関する相談・マッチング支援機能の強化



### 対応策② 県内事業者の企画力・技術力・商品開発力の強化

- ◎ **工業技術センター食品加工研究棟を整備**  
⇒ 食品加工に関する研修機能や加工食品試作機能を強化
- ◎ **試作機開発などへの支援の拡充**  
⇒ 製品の改良や開発が年度をまたがる場合も対象に

### 対応策③ 県内に不足している業種・工程や新たな成長産業の誘発（支援策の拡充）



## ◆取り組み状況◆

### 平成23年度の主な取組状況

#### 対応策①「ものづくりの地産地消」に関する相談・マッチング支援機能の強化

○総合相談窓口として、「ものづくり地産地消センター」を平成23年6月3日に設置

【体制】3名（センター長、ものづくり支援コーディネーター、臨時職員）

#### (1) 紹介・マッチング支援機能

##### ① センターの相談対応（平成23年8月9日現在）

※センターのみで対応が困難な場合は、各試験研究機関等全庁で対応中

（単位：件）

	相談件数	相談状況	
		対応中	対応済
①加工事業者に関する問合せ	27	12	15
②材料提供者に関する問合せ	1	1	0
③共同研究先に関する問合せ	2	1	1
④アイデア実現先に関する問合せ	6	3	3
⑤支援制度・支援機関に関する問合せ	9	6	3
⑥加工方法・商品開発の相談	6	4	2
⑦加工機械開発の相談	8	5	3
⑧その他	13	4	9
計	72	36	36



#### <相談事例>

- ・加工事業者 ⇒ 県外にOEMで出している乾燥工程を県内で頼める事業者を探している。  
⇒ 端物野菜を乾燥できる事業者を探している。  
⇒ 鶏の加工事業者を探している。
- ・加工方法 ⇒ 賞味期限（現状3日）の延長が見込めるような技術開発を行いたい。
- ・加工機器開発 ⇒ 茶葉の洗浄機を開発できないか。  
⇒ 県内産の野菜などを入れた練り製品製造機械を探している。
- ・機器購入 ⇒ ニラのソグリ機を探している。  
⇒ 手作業で行っているが、すりみ加工品を成型する装置を導入したい。

##### ② ものづくりに関する情報収集活動

- ・県内企業訪問
- ・県内大学等への訪問（高知大学、高知工科大学、高知高専）
- ・各種会合でのPR（JA中央会組合長会、工業会総会、港工業会など）

#### (2) 情報集約機能

○平成23年4月15日に、庁内の26機関（試験研究機関、関係課、地域本部等）で「ものづくり地産地消推進プロジェクトチーム」を立ち上げ

- ・月一回、プロジェクトチーム員から「ものづくり」に関する情報を集約し、チーム員にフィードバック
- ・センター以外の関係部署等で対応する「ものづくりの地産地消」に関する重要な相談については、タイムリーにセンターに情報を提供
- ・関係部署の有する支援策を共有



### (3)啓発機能

#### ①「高知県ものづくり技術展示会」の開催

本県の強みである「食」を中心に県内の食品加工業者や関連機器製造業者の技術力をアピールし、商談を促すことを目的に開催。

開催日：平成23年6月3日（金）～4日（土）

場 所：高知ちばさんセンター、工業技術センター

##### 1) 入場者数

4,300人（3日 2,500人、4日 1,800人）

##### 2) 出展事業者数

29事業者（加工機器13、製品委託13、包装資材3）

##### 3) 商談件数（出展事業者アンケート結果）

131件（包装資材関係の事業者を除くと83件）



#### ②「ものづくりの地産地消」及び「ものづくり地産地消センター」の広報活動

- ・さんSUN高知への掲載、県広報番組（テレビ10回、ラジオ10回）での周知、高知新聞への掲載
- ・県産業振興センター広報紙への掲載
- ・リーフレットを作成し、市町村との意見交換会など各種会合で配布

### 対応策② 県内事業者の企画力・技術力・商品開発力の強化

#### ○加工技術力のレベルアップ

##### ①加工に関する研修機能

特別技術支援員や技術アドバイザーなどの外部人材の登用等により、技術力に応じた研修、技術相談等を実施することで技術人材を育成

（機械・金属等）・研修 5コース 参加者 76名

・特別技術支援員による技術指導 29回

・技術指導アドバイザーの派遣 7件

（食品加工）・研修 2コース 参加者 56名

・特別技術支援員による技術指導 29社 → 商品化 3件

##### ②加工食品試作機能

工業技術センター内にさまざまな加工食品の試作品開発が行えるように食品加工研究棟を設置  
20事業者が延べ54回利用（H23.8.9現在）

#### ○試作機開発などへの支援の拡充

ものづくり地産地消推進事業費補助金による試作機開発を支援

助成件数：5件（6月末） ※H22：15件

### 対応策③県内に不足している業種・工程や新たな成長産業の誘発（支援策の拡充）

#### ○ものづくり企業の立地が拡大

県内・県外企業を問わず支援策を充実・強化し、ものづくり企業の立地を促進

ものづくり企業の立地件数：4件

## 今後の取組内容

### (1) 今後の取り組み

引き続き、センターを中心に、各関係機関が連携して、迅速かつ適切な相談対応に努めるとともに、次により相談案件の掘り起しを行う。

・「食の大商談会2011（11月1日、2日）」等での相談コーナー等の設置

・包括協定に基づく金融機関との情報共有

平成24年度の技術展示会については、「食」のテーマに加え、他分野への展開も視野に入れた総合的な技術展示会の開催を検討

### (2) 次のステージの方向性

ものづくりの地産地消のさらなる展開を図ることにより、産業のすそ野を広げ、地産外商につなげる